

# Tomorrow for the smile.



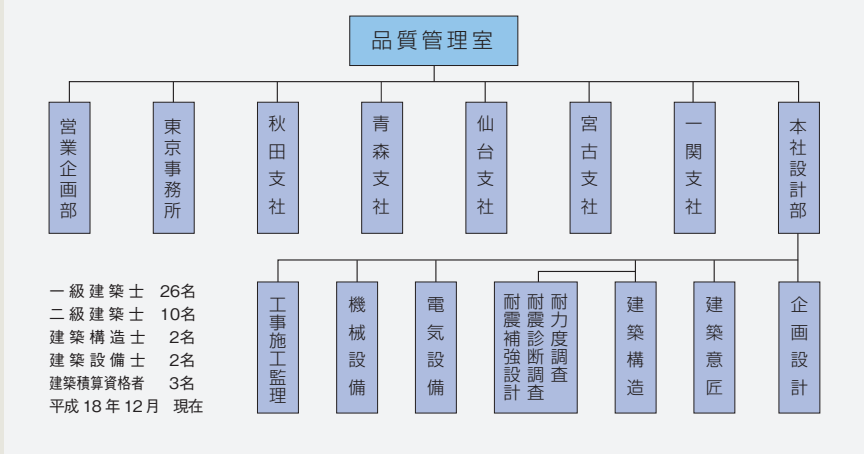
2007

新年のごあいさつ      代表取締役社長      小川 惇

2007年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
 昨年は私ども(株)久慈設計の創立75周年という節目の年でありました。今年には更に気持ちを引き締め、新しい建築士法の改正に基づく自己研鑽に努めて、企画から設計・工事監理及びアフターケアまで、ISO9001認定企業として品質管理を推進し、建築主の方々から信頼される建築設計事務所としての責務を果たしていく所存であります。建築物は単に機能を果たす器ではなく、景観的にも美しく安全で寿命の長い社会的資産でなければなりません。私どもはそれを目指しております。  
 (株)久慈設計は顧客の方々への満足度を高めるべく努力してまいりますので、皆様方のご指導とご協力をお願いいたしまして年頭の挨拶といたします。



## 組織図 The organizational structure



## KUJI ARCHITECTS NETWORK

本 社	岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL. 019-624-2020 FAX. 019-622-7720 [岩手県知事登録(計)第5号] (社)岩手県建築士事務所協会会員	仙台支社	宮城県仙台市青葉区八幡 5-3-11 久慈設計仙台ビル TEL. 022-727-8780 FAX. 022-727-8781 [宮城県知事登録第02510044号] (社)宮城県建築士事務所協会会員
一 関 支 社	岩手県一関市地主町6-1 TEL. 0191-26-2006 FAX. 0191-23-7550 [岩手県知事登録第1657号]	青 森 支 社	青森県青森市花園2-44-5 カーサ・ディ・ソレーA号 TEL. 017-765-4767 FAX. 017-765-4768 [青森県知事登録第1383号]
宮 古 支 社	岩手県宮古市新町1-2 TEL. 0193-71-1380 FAX. 0193-71-1381 [岩手県知事登録第1651号]	秋 田 支 社	秋田県秋田市保戸野千代田町9-43 保戸野パークビル1階 TEL. 018-867-8778 FAX. 018-867-8777 [秋田県知事登録第05-04A-0567号]
東 京 事 務 所	東京都江東区木場5-11-15 第2新倉ビル103 TEL. 03-5646-7870 FAX. 03-5646-7871		

(社)公共建築協会会員    (社)日本建築家協会会員    (社)日本建築積算協会会員    (社)日本建築士事務所協会会員  
 (社)日本医療福祉建築協会会員    (社)日本建築士会連合会会員    (社)日本コンストラクション・マネジメント協会会員



【特集】  
 いわて県民情報交流センター  
 aina (アイーナ)



<http://www.kuji-act.com/>



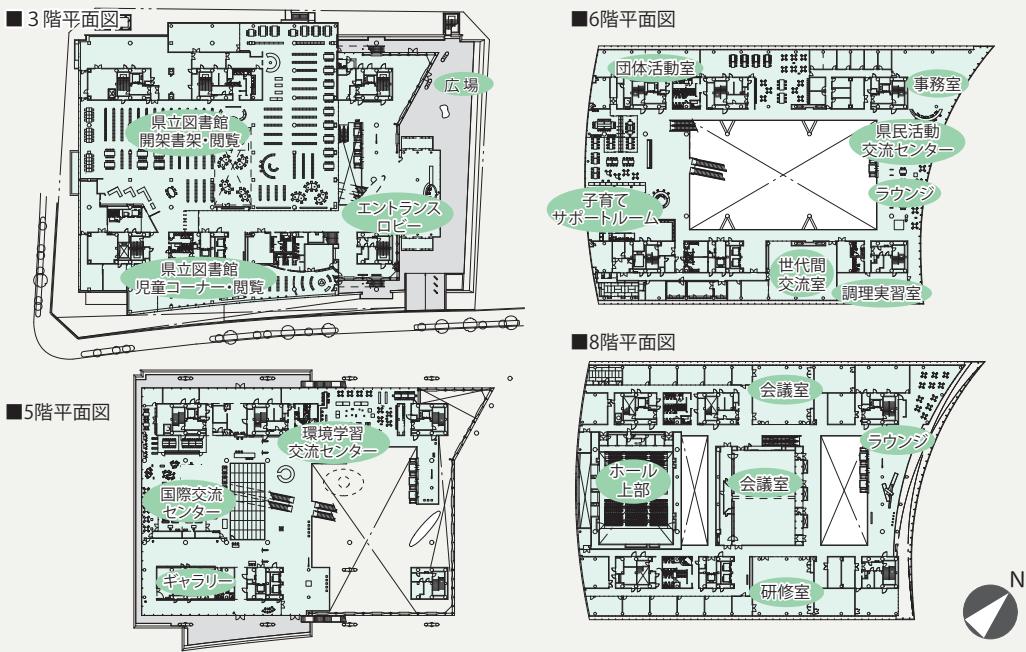
## いわて県民情報交流センター aiina(アイーナ)

施工地／岩手県盛岡市  
盛岡駅西通1丁目7番1号  
竣工年月日／平成17年3月  
敷地面積／9,000.00㎡  
構造／鉄骨(一部鉄骨鉄筋コンクリート)造  
地下1階 地上9階  
延床面積／45,874.84㎡  
設計・監理／日本設計・首根幸一環境設計研究所・  
久慈設計設計共同企業体

## まちをつなぎ[か]おをつくる

敷地は、JR盛岡駅に隣接した西口開発地区にあり、マリオス(地域交流センター)に隣接する等、立地・交通アクセスの良さを含め、将来の発展性が期待される場所に位置しています。歩行者の主なアプローチを駅西口広場に面した人工地盤レベルとし、アプローチレベルから連続する雑壇状の断面構成により、来館者の視線を奥へ伸ばし、街の賑わいを引き込むとともに、外皮を透明なスクリーンとすることで、館内の活動を街に向かって発信し、まちと施設をつなぐことを意図しています。高層部のガラス壁面は、駅西口広場に対して人々を迎え入れるように弧を描き、その先に地域に親しまれる岩手山を望むシンボリックなかおをつくっています。

### 平面図 a plan



## 環境への配慮とコストの削減

アトリウム(吹き抜け)を設置することで、建物内にできる限り自然光を採り入れるとともに、各施設を利用する県民にその機能や動線をわかりやすくし、さらに各施設の活動が眺められ、施設相互の理解と多様な交流・連携の促進にもつなげることができました。

また、太陽光による発電、地熱を利用した外気負荷削減、地域熱供給施設からのエネルギーの受給、井戸水による融雪設備などを備え、風、光、地熱、井戸といった自然エネルギーを最大限に利用することで、ライフサイクルコストの約74%を占めるといわれる維持管理コストの削減とともに環境への配慮にも取り組みました。

外観は、内部の空間構成に応じて低層部を御影石、中層部をDPG<sup>※1</sup>、高層部は大型ルーバー<sup>※2</sup>を組み込んだダブルスキンの<sup>※3</sup>三層構成とし、さらにLow-eガラス<sup>※4</sup>を使用することで空調エネルギーの削減を図りました。V字型の柱は、アトリウムの開放感と図書館のゆとりある書架モジュールのために、高層部の柱スパンを中層部で切り替える構造的な解決として生まれたもので、特徴的な形の柱が連続してリズムを刻むとともに、高層部の浮遊感を高める結果にもつながりました。

また、ゆとりのある階高・設備シャフトを確保するとともに、制震構造の採用(油圧式減衰装置の設置等)により大地震時の修繕コストの低減を図り、建物の長寿命化を目指しました。

- ※1 DPG：ガラスの隅にけた孔を金物で支持して構造体で留める方法
- ※2 大型ルーバー：直射日光や通風を調節する羽板
- ※3 ダブルスキン：二重のガラス外壁
- ※4 Low-eガラス：表面に低放射コートを施して表面放射率を小さくしたガラス
- ※5 光井戸：光を通す吹板空間



太陽光発電パネルと一体となったトップライト



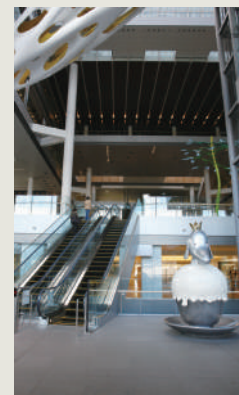
5Fロビー



図書館まで自然光を導く光井戸 ※5



アトリウム空間



3階エントランスロビー



6階ラウンジ